

本校での新型コロナウイルスの流行は現在落ち着いています。茨城県における季節性インフルエンザは、2019年以降3年ぶりに流行入りとなりましたので、コロナとの同時流行に備える対応が必要です。学校生活では、今後も登校時の健康状態の確認、手洗いや換気等、感染拡大防止対策を講じていきます。ご家庭におきましても不要不急の外出は控えるなど、引き続き感染症対策のご協力をお願いします。

防災教室について(1/11)

1月11日に、筑西市環境部消防防災課の方をお招きし、避難訓練後に防災教室を開催しました。近年の筑西市の自然災害発生状況(昭和61年台風10号による旭が丘・赤浜地区の被害、平成8年7月のダウンバースト、平成23年3月11日の東日本大震災、平成27年9月の関東・東北豪雨等)や、地震・風水害の際の取るべき行動、日頃からの備え等についてお話がありました。近年は気候変動により、想定を大きく超える災害の危険性があります。災害は必ず発生しますので、防災意識の向上が必要です。

防災に対する心構え

① 「災害は起きない」という意識を改める

昔に比べ豪雨の発生の可能性は高まっており、数十年に一度と言われる河川の氾濫が毎年発生しています。茨城県南西部を震源とした地震も頻発しています。

② 家族、近所で相談を

役割分担、緊急避難場所、避難所までの安全な経路、家族との連絡方法等を家族全員で確認しましょう。お年寄りや病気の方を支援する者をあらかじめ決めておきましょう。

③ 積極的に情報収集を

地震発生時や水害時の危険が高まった時は、様々な情報が発信されます。筑西市情報メールへの登録、テレビ、ラジオ、インターネットなどを活用し、積極的に情報収集に努めましょう。

- 防災行政無線での発報
- ホームページ、SNSでの発信
- 市の登録制メール、エリアメール
- テレビ(dボタン)での発信
- 公的機関などの防災アプリ



気象予測技術の現状を踏まえて、防災気象情報は段階的に発表されます。段階的に発表される防災気象情報を活用し、リスクに応じた早めの対応を心がけましょう。

④ 「自分の身は自分で守る」

いざという時、「自分自身の身を守るのは自分自身である」という基本認識を持ちましょう。

⑤ 自宅外へ避難か、留まるか、冷静に判断を

災害の種類や状況によっては、無理に屋外へ出ず自宅に留まることも選択肢の一つです。しかし、浸水、水没の危険性がある場合は、早めの避難が必要です。

⑥ 想定に依存しすぎない

洪水ハザードマップや土砂災害警戒区域では、ある一定の状況下での危険区域が示されているにすぎません。近年の自然災害は、想定外の災害が発生していますので、十分な警戒が必要です。

マイ・タイムラインを作成・活用しよう!

大雨が降ったら…自分の家は浸水するの?何を持って逃げる?どこへ逃げる?いつ逃げる?一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画が、マイ・タイムラインです。

*入門編の「我が家のタイムライン」をいただきました。家族と相談して作成してみてください。

生徒の感想

- 南海トラフや首都直下型地震がいつ起きてもおかしくないことを知り、災害が起きたときのために、避難所の場所やハザードマップの確認をしたいと思います。
- 筑西市で起きた災害を知り、災害をより身近に感じました。災害が起きたときに、どうすればよいのか、どこに避難するのかを調べようと思いました。
- 災害が起きたときには、正確な情報を取り入れるようにしたいです。「自分は大丈夫」と思わずに、家族で避難場所について話し合うなどして、防災意識を高めたいと思いました。



「中学生は避難をするのが早いですね」とお褒めの言葉をいただきました。



筑西市の防災行政について、講話をいただきました。お話を聞いて、防災意識が高まりました。



防災テントの中に入りました。テントの中にはフカフカの簡易ベッドもあります。



非常食の紹介です。災害に備えて食料品は1人3日分程度を用意しましょう。

県立高校入試を控える3年生へ



受験を通してみなさんは成長しています

県立高校入試まで、残り約1か月です。志望校合格という、今まで生きてきた中で最大級の課題に向けて、毎日がんばっている3年生のみなさん。高校受験や進路実現を経験することで、人間として成長することができるはずです。そのためには「今までの中で一番勉強したな」と胸を張れるくらいの努力が大切です。自分の可能性を信じて全力で入試を闘ってみてください。勉強するのもいいものだなと思えるところまで上がってきたときに見える世界は、今とは全然違うはずです。卒業する時に、「受験を通して自分は成長した!」と心の底からそう思えるように全力を尽くしてください。みなさんのがんばりを応援しています。

周囲への感謝を忘れずに過ごしましょう

受験生のみなさんに忘れないでほしいのは、周囲に感謝することです。みなさんが受験勉強に集中できるのは、家族や周囲の人の支えがあるからです。周囲に感謝できる受験生のほうが、受験でがんばっているのは自分だけではないと感じられるため、志望校に合格しやすいはずです。ぜひ周囲の人の支えに感謝できる受験生になってください。今、大変な不安を感じている受験生もいるでしょう。しかし、あくまで人生の通過点として考えてください。不安や緊張を楽しむくらいのつもりで勉強に集中し、本番まで過ごしてください。